

2009年6月

会員各位

電気鍍金研究会研究報告会および重点研究事業第4回報告会のご案内  
「環境調和型めっき技術 表面技術におけるマテリアル・イノベーション」

電気鍍金研究会  
表面技術協会関西支部  
表面技術協会ウエットプロセス研究部会

電気鍍金研究会では創立50周年記念事業の一環として、重点研究事業を設立いたしました。今回、電気鍍金研究会研究報告会および重点研究事業第4回報告会を開催することになりました。「環境調和型めっき技術 - 表面技術におけるマテリアル・イノベーション -」をテーマとした3課題の重点研究事業の成果を平易に解説するとともに、プラスチックめっきの環境負荷低減技術・リサイクル技術について現場での取り組みの成果をご紹介します。ぜひご参加下さいませようご案内申し上げます。

記

日時：平成21年7月22日(水) 13:15~17:00

会場：大阪鍍金会館(〒537-0025 大阪市東成区中道3-1-14) JR環状線「玉造駅」下車徒歩5分

参加費：会員3,000円、学生1,000円、非会員6,000円(いずれもテキスト代含)

申込方法：参加希望者は、別紙申込書に必要事項を明記の上、7月3日(金)までに下記宛にお申し込み下さい。  
尚、参加費は当日徴収致します。

定員：90名(先着順)

研究報告会・プログラム

1. 環境調和型スペキュラム(CuSn)合金めっき技術の開発 (13:15~14:05)  
京都市産業技術研究所工業技術センター 中村俊博氏、水谷 泰氏、永山富男氏、甲南大学 縄舟秀美氏  
ニッケルはアレルギー疾患の原因となることから、代替ニッケルめっきプロセスが要望されている。本発表では、ニッケル規制の動向および環境調和型非シアン浴からのスペキュラム(CuSn)合金めっきの開発の現状について報告する。
2. Snめっきへのレーザー処理とウィスカ抑制作用 (14:10~15:00)  
岡山県工業技術センター 日野 実氏、水戸岡豊氏、村上浩二氏、オーエム産業(株) 高見沢政男氏  
Snめっきは、安価ではんだ濡れ性に優れた皮膜としてPbフリーはんだ代替めっきとして期待される一方で、Snめっきからはウィスカが発生し、端子間での短絡の要因となることから、現在、このウィスカ発生がダウンサイジングされた電子デバイスへの適用に大きな障害となっている。これまでSn皮膜中に生成する化合物層がウィスカ発生の要因として知られている。本講演では、レーザー処理によるSnめっきの化合物層の組織制御およびウィスカ抑制効果について紹介する。  
休憩(15:00~15:15)
3. バナジン酸塩を用いたアルミニウム表面のクロメート代替化成皮膜の構造 (15:15~16:05)  
地方独立行政法人 大阪市立工業研究所 川舟功朗氏  
クロメート代替物質としてバナジン酸塩を用いて、アルミニウム表面への化成皮膜の形成法を検討した。本講演では、化成皮膜の耐食性に及ぼす成膜条件の影響、および、グロー放電発光分光法・X線光電子分光法を用いた化成皮膜の膜構造の分析結果を紹介する。
4. 樹脂めっき業者ができる環境負荷低減対策 (16:10~17:00)  
柿原工業(株) 野田義則氏  
樹脂めっき工程では大量のCr( )化合物を使用しており、使用量の低減や全廃が課題になっている。さらに排水量の低減・再利用・有価物の回収問題等課題は山積みしている。樹脂めっき製品のリサイクルも課題であったが、弊社では独自のリサイクル装置も稼働している。本講演では、弊社での取り組みについて報告する。

F A X 送 信 票

平成 21 年 月 日

電気鍍金研究会 事務局 御中

( F A X : 0 6 - 4 2 5 9 - 6 8 9 0 )

電気鍍金研究会 研究報告会および重点研究事業第4回報告会  
「環境調和型めっき技術 - 表面技術におけるマテリアル・イノベーション - 」  
参加申し込み

氏 名 \_\_\_\_\_

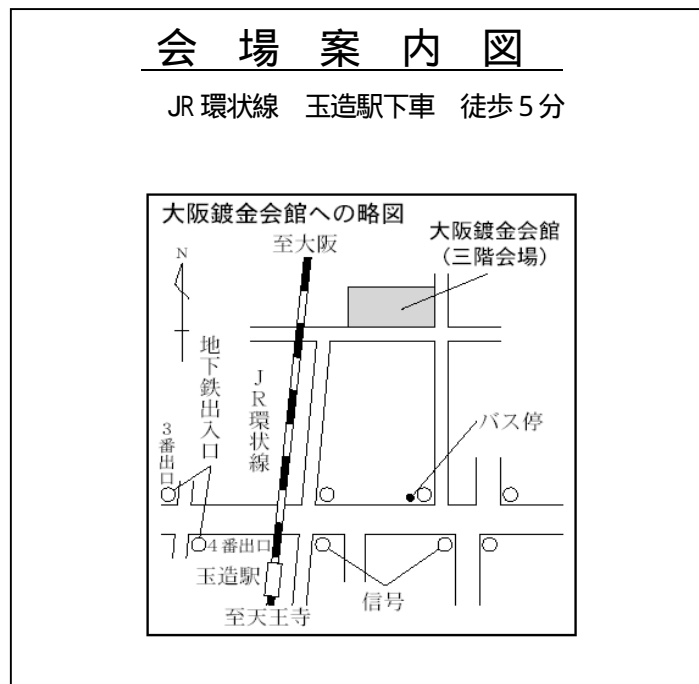
企業名・所属 \_\_\_\_\_

住 所 〒 \_\_\_\_\_

電 話 \_\_\_\_\_

会員資格 ( 該当するものを全てチェックして下さい )

電気鍍金研究会      表面技術協会      学生      会員外



電気鍍金研究会事務局 TEL/FAX 06-4259-6890  
大阪市東成区中道 3-1-14 大阪鍍金会館内